

南区「安心・安全なまちづくり特集」(案)

平成28年8月に、地域の防犯活動について実態を把握するため、コミ協から選出された委員には、防犯協会各支部の活動状況や警察署への意見・要望などに関する調査を、各種団体から選出された委員には、選出団体の防犯活動や認識に関する調査を実施しました。

調査結果(抜粋)

■犯罪の発生状況(コミ協選出委員)

南区全体では、発生件数は減少傾向ですが、増加している地区(茨曾根、大郷、大通)、減少している地区(白根、庄瀬)と、地域で差がありました。

■増加している犯罪の種類(コミ協選出委員)

空き巣などの窃盗犯罪、強盗などの凶悪犯罪などが増加しています。大通地区では車両火災がありました。未だ解決していないとの報告でした。

■講じた防犯対策(コミ協選出委員)

地域での防犯パトロールやのぼりの設置やちらしの配布などが多く、警察署への相談、青色回転灯パトロール車による警戒活動などを実施していました。

■警察への意見・要望等(コミ協選出委員)

- ・パトロールの強化
- ・増加している特殊詐欺への対応

- ・地域との連携強化
- ・事件の再犯防止策

■各種団体の状況等(各種団体等選出委員)

- ・商工会青年部で「見守り隊」を結成して業務車両にステッカーを貼って下校時間に合わせてパトロールを実施している。地域でのコミュニケーションを高め、つながりの中で防犯活動に取り組む必要がある。(商工会)
- ・小中学校では自転車通学を実施しているが、長い距離を1人で帰ることもあり心配である。(地域教育コーディネーター)
- ・老人クラブでは、犯罪に巻き込まれないように南警察署の指導のもと年2回研修(窃盗・特殊詐欺)を行っている。(老人クラブ連合会)
- ・車両火災や痴漢行為など不審者が出没することから、パトロール強化の継続が重要。防犯カメラ設置や設置の補助制度導入を望む。(民生児童委員)

地域の防犯活動



防犯協会と白根高校生徒による啓発活動



白根高校ヤングボランティア
特殊詐欺防止啓発劇



大通コミ協による青色パトロール

わんわんパトロール

犯罪発生状況 2月
各区重点犯罪発生状況(円グラフ)

南区自治協議会はそれぞれの役割を果たすことと、一人ひとりが防犯意識を持つ大切さを南区全域に「南区自治協議会からの提言」として発信していくことにしました。

～南区を安心して安全なまちにするために～

犯罪を防ぐには「公・共・自」の取り組みが必要です。

公的機関となる警察は、人の生命と財産を守るという使命のもと、パトロールの強化と事件の迅速な対応、適切な情報公開が期待されます。

共に犯罪を防ぐ取り組みとしては、南区防犯協会をはじめとしてコミ協、自治会、各種団体、企業、学校などが連携して防犯活動を継続していくことが必要です。多くの目があることで防げる犯罪があります。そしてその活動を支えるためには一人ひとりの防犯意識の向上が大切です。

「自分で自分の身を守り、住民として地域を守る」

「犯罪の状況を知り、被害にあわないための対策を考え、行動する」

南区を安心して安全なまちにするために、それぞれが信頼のもと協力して取り組んでいきましょう。

平成29年3月

南区自治協議会委員

田村 義三郎 青木 智子 小林 誠 渡辺 康 木村 功 小林 公子 棚村 真寿美 小林 孝 高橋 薫 小山田 充 小山 康子 片野 秀雄
佐藤 千代子 市嶋 洋介 丸山 新吉 野澤 敏子 西脇 博 原 正行 原 五郎 大那 孝 渡辺 悦子 田中 容子 大橋 章子 高橋 文子
本間 智美 小林 加代子 小林 敬子 山宮 勇雄

私たちも活動します!! 南区自治協議会の活動

委員自らが「南区に関心を持ちながら生活するという意識をもつことが大切」という第1部会の協議結果から、南区自治協議会全員で「南区安心・安全見守り隊」を結成することになりました。

「南区見守り隊」のマークとして、安心・安全ステッカー(マグネット又は吸盤タイプ)を作成し、委員全員の自家用車に貼り付け、見守り活動を行います。



安心・安全ステッカー